

昭和 60 年 5 月 中座
主な配役

昼の部

「華やかな夜景」

秘書安来(藤山寛美) 運転手亀井(曾我廼家文童) BG1(瀬々良木澄江) 安来の妻しづ子(四条栄美) 仲居おゆき(正司照江) 社長因幡亀之亮(高田次郎) 庶務主任笈(曾我廼家八十吉) BG2(前田秀美) 営業主任明石(曾我廼家寛太郎) 社員田代(曾我廼家五九郎) 市会議員佐竹(小島慶四郎) 関取足柄山(梅大路満) 足柄山の弟子(木曾川満) 芸者小竹(藤枝由美江) 仲居おみつ(岸本康子) 同おたか(御陵多栄子) コンパニオンカモメ(千里野朱美) 同サクラ(安芸みずほ) 同スマレ(月城小夜子) 芸者菊野(花井万津恵) 仲居松枝(滝由女路) 岸和田車輛社長大村(白羽大介) 女社員(里美羽衣子・大堀香織) 社員(都築謙次・曾我廼家一二三・甲斐正法・関義郎)

「胸突き八丁手八丁」

浪人平井十内(梅大路満) 人質の娘おきぬ(滝由女路) 浪人吉田甚八(金乃成樹) 同竹原一平(曾我廼家寛太郎) 人質の娘おとよ(花井万津恵) 同おくみ(千里野朱美) 浪人頭大島刑部(高田次郎) 水車番佐平(藤山寛美) 神官安麻呂(長谷川稔) 僧侶光念(八木五文楽) 見回役猪熊虎之進(小島慶四郎) 善右衛門女房おしも(勝浦千浪) 善太郎女房おたね(四条栄美) おとよの父茂作(曾我廼家五九郎) その女房おかめ(義士廼家緑) おきぬの母お里(岸本康子) 村の男吾助(喜多康樹) 同友吉(白羽大介) 同太市(曾我廼家玉太呂) 同北六(曾我廼家八十吉) 村の女おさん(宮村八須絵) 同おかく(御陵多栄子) 同おしの(藤枝由美江) 庄屋の倅善太郎(曾我廼家文童) 庄屋善右衛門(伴心平) 花作りの男卯之助(中川雅夫) 佐平の女房およし(正司照江) 佐平の妹おとり(月城小夜子) 村の男(沢田光生・里美萬須男・仲圭介・曾我廼家一二三・都築謙次・甲斐正法・関義郎・木曾川満) 村の女(田辺厚子・瀬々良木澄江・前田秀美・安芸みずほ) 村の娘(里美羽衣子・大堀香織・山田弥生・千葉由香・筑波舞子)

夜の部

「仁和寺の僧」

寺侍遠山(仲圭介) 同錦野(沢田光生) 同大原(都築謙次) 執事(長谷川稔) 第四僧(甲斐正法) 第五僧(関義郎) 第六僧(曾我廼家寛太郎) 第七僧(木曾川満) 寺小姓一(曾我廼家玉太呂) 同二(曾我廼家一二三) 料亭女中一

(月城小夜子) 同二(滝由女路) 寺男一(八木五文楽) 同二(里美萬須男)
振袖腰元甲(藤枝由美江) 同乙(千里野朱美) 同丙(花井万津恵) お局様
(四条栄美) 腰元(田辺厚子・里美羽衣子・瀬々良木澄江・大堀香織・前田秀
美・山田弥生・安芸みずほ) 賄方吟味役頭(藤山寛美) 賄方下役脇坂(金乃
成樹) 第二僧(中川雅夫) 第三僧(曾我廼家八十吉) 第一僧(曾我廼家文
童) 悪女(勝浦千浪) 悪右衛門(高田次郎) 五郎兵衛(曾我廼家五九郎)
赤鬼(小島慶四郎) 青鬼(梅大路満) 長老様(藤山寛美) 供僧一(喜多康樹)
供僧二(白羽大介)

「芸人水滸伝」

大道芸人駒三(曾我廼家文童) 寿司八出前持徳松(中川雅夫) 浪人筒井源
三郎(梅大路満) 茶店の女お由(正司照江) 寿司八の娘お千代(花井万津
恵) 同母親お勢(義士廼家緑) 役者の番頭与吉(小島慶四郎) 同男衆久七
(喜多康樹) 宮男弥作(白羽大介) 若旦那孝三郎(曾我廼家玉太呂) 芸者
歌吉(藤枝由美江) 同染香(山田弥生) 太鼓持蝶丸(曾我廼家八十吉) 職
人市造(曾我廼家寛太郎) 同仙太(仲圭介) 同音吉(都築謙次) 梅松亭竹
助(藤山寛美) 蚕の油売り(金乃成樹) 薬草売り尼僧(宮村八須絵) 娘芸人
姉白扇(月城小夜子) 同妹水扇(滝由女路) 飴屋の男(曾我廼家一二三)
子守女(大堀香織) 噺家千鳥亭小波(長谷川稔) 席亭竜造(高田次郎) 竹
助の女房お絹(四条栄美) 元噺家万福家福升(伴心平) 玉すだれ芸人おひ
ろ(千里野朱美) その母親おしん(岸本康子) 徳松の母親お紋(勝浦千浪)
源三郎の妻美乃(御陵多栄子) 通行の人(里美萬須男・甲斐正法・木曾川満・
田辺厚子・瀬々良木澄江・前田秀美) 町の老人(沢田光生) 見物の人(関義
郎・里美羽衣子・安芸みずほ・千葉由香・筑波舞子)